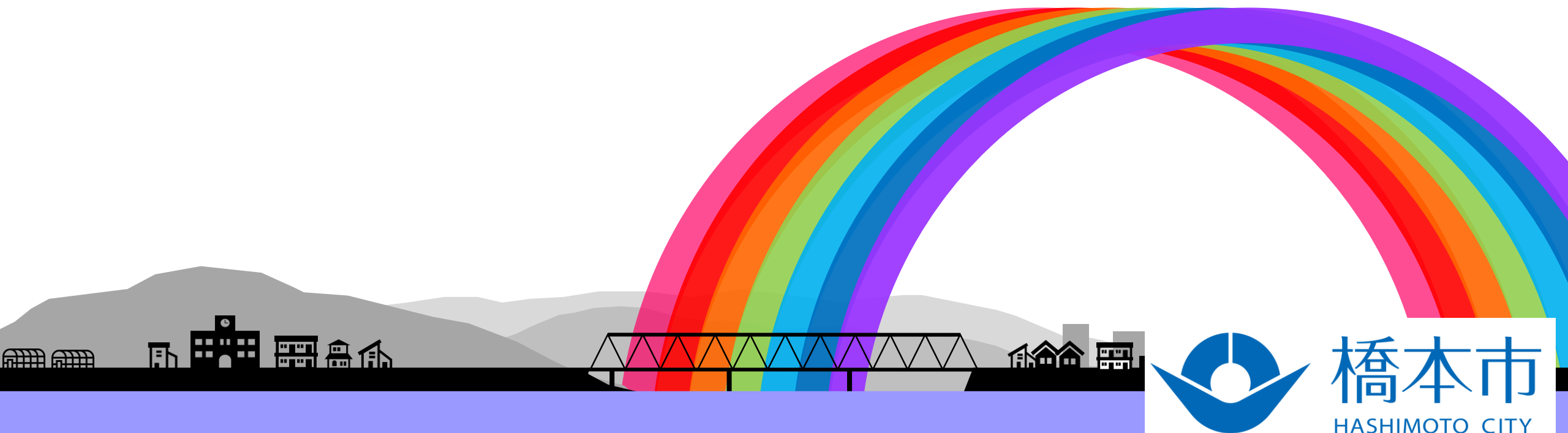


令和6年度当初予算について



橋本市
HASHIMOTO CITY

目次

- ・ 令和6年度予算の概要 1～3ページ
 - 1 予算編成のポイント 2 予算規模（全会計）
 - 一般会計歳入、歳出（性質別） 予算の内訳

- ・ 長期総合計画との関連 4～5ページ

- ・ 令和6年度当初予算の主な事業 6～13ページ
 - ともに創る 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち**
 - 地域通貨事業補助金／橋本ふるさと便事業
 - 農産物等インターネット販売促進事業／移住・定住促進関連補助金
 - ともに守る 安全・安心な暮らしを守り支えるまち**
 - 地域防災計画等の改訂事業／ひきこもり支援推進事業
 - 道路維持修繕等事業／消防庁舎防災機能強化緊急整備事業
 - ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学びあうまちづくり**
 - 地域通貨を利用した市民参画促進事業／新生児聴覚検査実施事業／小中学校体育館無線ネットワーク整備事業／デジタル教科書等整備事業／公民館・郷土資料館新築事業／（仮称）はしもとこどもまつり実施事業

令和6年度予算の概要①

1 予算編成のポイント

◆ポイント1 (一般会計の予算総額)

一般会計予算総額は、297億983万9千円となり、対前年度比15億9,219万8千円 (+5.7%) の増となった。

施策評価等により、各部局より重点施策を抽出し、より良い住民サービスを達成するために必要な財源を確保しつつ、積極的な予算編成を行った。

◆ポイント2 (子育て環境の充実に向けた予算)

民生費－児童福祉費及び教育費の合計額は、約79億4百万円となり、対前年度比で6億1千7百万円の増額となった。主な事業に(仮称)紀見こども園整備事業(民生費)【事業費：約7億5千5百万円】や、デジタル教科書導入事業【事業費：約4千6百万円】などがあり、子育て関連予算について、より充実を行った。

◆ポイント3 (義務的経費の増加による厳しい財政運営の改善に向けて)

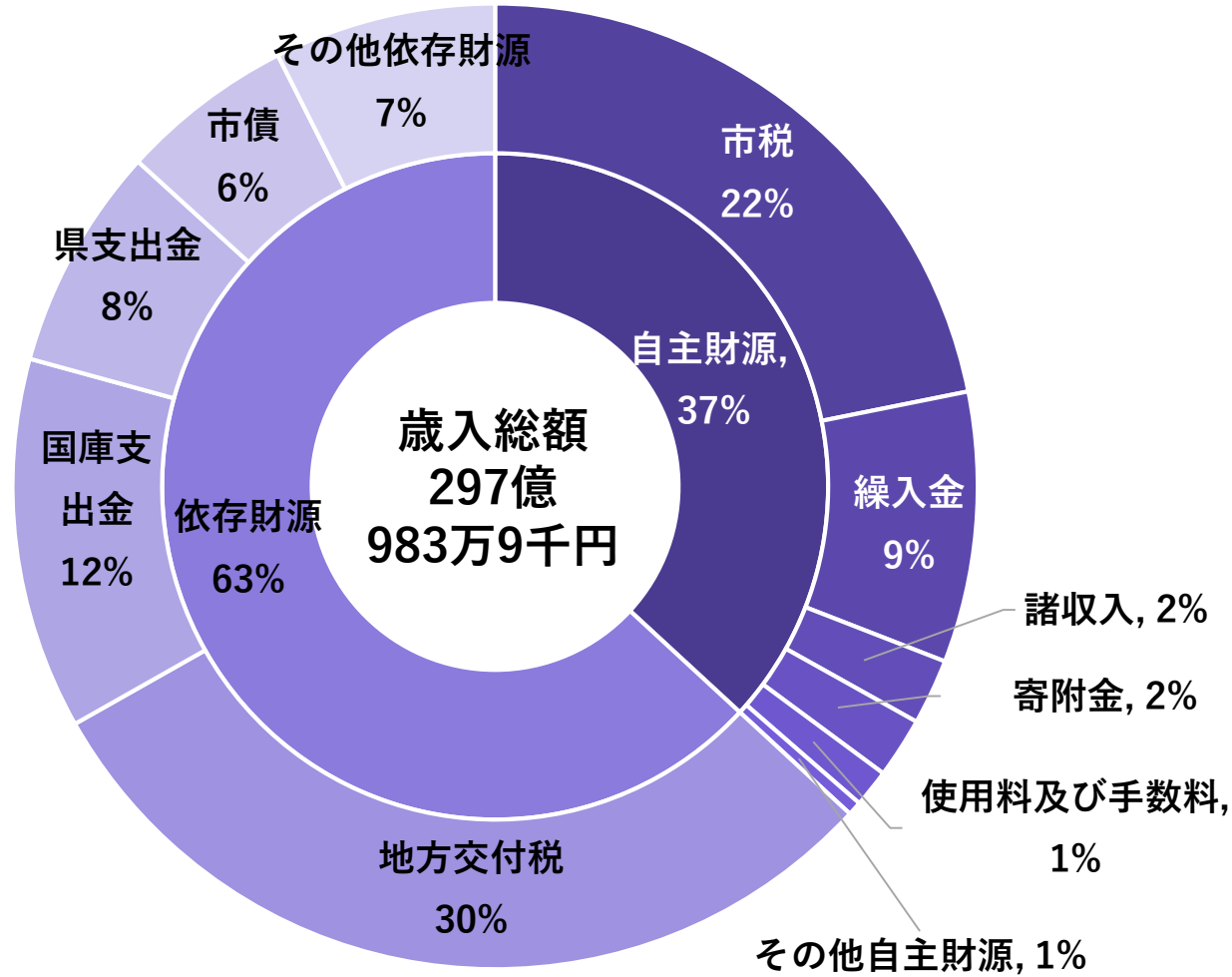
国人事院の勧告等により、職員給与費の増額や会計年度任用職員の勤勉手当の導入など人件費で、対前年度比約6億1千6百万円の増、社会保障費(扶助費)で2億8千7百万円の増となっており、今後、必要な財源の確保に努めるとともに、建設事業の計画的な執行による公債費(借金の返済)の縮減等により計画的な財政運営を行っていく。

2 予算規模(全会計)

会 計	令和6年度	令和5年度	増減額/増減率
一 般 会 計	297億 983万9千円	281億1,764万1千円	+15億9,219万8千円 +5.7%
特 別 会 計	159億2,296万6千円	176億 986万2千円	△16億8,689万6千円 △9.6%
企 業 会 計	152億7,554万3千円	168億8,885万2千円	△16億1,330万9千円 △9.6%
合 計	609億 834万8千円	626億1,635万5千円	△17億 800万7千円 △2.7%

令和6年度予算の概要②

令和6年度一般会計歳入予算額の内訳

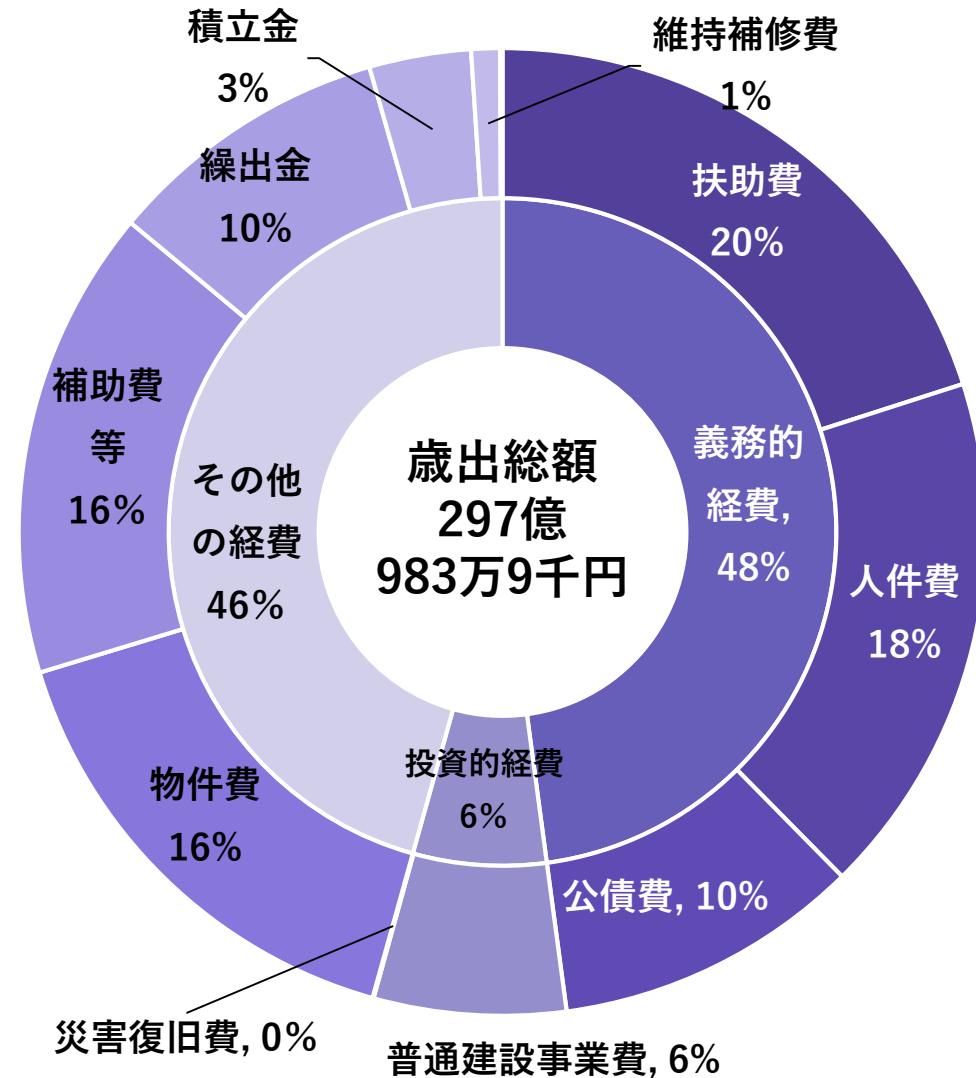


自主財源とは市が自主的に調達できる収入、依存財源とは国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や市債のことです。自主財源の割合が大きいほど財政は安定していると言えます。

自主財源		小計	109億5,044万6千円	37%
	市税		64億9,095万1千円	22%
	繰入金		26億9,068万5千円	9%
	諸収入		6億5,356万7千円	2%
	寄附金		6億 190万2千円	2%
	使用料及び手数料		3億7,528万1千円	1%
その他	分担金及び負担金		1億1,986万円	1%
	財産収入		1,819万9千円	
	繰越金		1千円	
依存財源		小計	187億5,939万3千円	63%
	地方交付税		89億円	30%
	国庫支出金		36億9,739万8千円	12%
	県支出金		22億2,364万6千円	8%
	市債		17億3,030万円	6%
その他	地方消費税交付金		14億4,300万円	7%
	地方特例交付金		2億8,844万2千円	
	地方譲与税		2億5,220万7千円	
	法人事業税交付金		7,500万円	
	配当割交付金		5,600万円	
	自動車税環境性能割交付金		3,400万円	
	株式等譲渡所得割交付金		2,900万円	
	ゴルフ場利用税交付金		2,300万円	
	利子割交付金		440万円	
	交通安全対策特別交付金		300万円	

令和6年度予算の概要③

令和6年度一般会計歳出予算額の性質別経費内訳



義務的経費とは支出が義務付けられたもので、毎年度必ず支払わなければならない経費、**投資的経費**とは道路や公園、小中学校や保育所などの整備費や大規模改修費、自然災害による施設の復旧など社会資本の整備に関する経費のことをいいます。

義務的経費	小計	142億2,562万4千円	48%
	扶助費	59億5,721万2千円	20%
	人件費	52億1,748万9千円	18%
	公債費	30億5,092万3千円	10%
投資的経費	小計	19億1,602万8千円	6%
	普通建設事業費	19億 562万5千円	6%
	うち補助事業	1億6,720万5千円	—
	うち単独事業	17億3,842万 円	—
その他の経費	災害復旧費	1,040万3千円	—
	小計	135億6,818万7千円	46%
	物件費	47億4,637万7千円	16%
	補助費等	46億7,524万 円	16%
	繰出金	28億2,750万6千円	10%
	積立金	10億1,023万5千円	3%
	維持補修費	2億8,457万6千円	1%
	投資及び出資金	380万2千円	
	貸付金	45万1千円	0%
	予備費	2,000万 円	

橋本市では、平成30年度から10年間のまちづくりの指針となる第2次橋本市長期総合計画を策定し、まちづくりの基本的な考え方となる基本理念のもと、3つの基本目標に沿った施策を推進しています。

基本目標 ▶ **ともに創る** 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

賑わいと活力を創出する地域産業づくり

雇用の創出と就労環境づくり

充実した情報整備と魅力的なまちづくり

基本目標 ▶ **ともに守る** 安全・安心な暮らしを守り支えるまち

安全・安心な暮らしと、生活の利便性を支える都市基盤づくり

豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり

住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能な仕組みづくり

基本目標 ▶ **ともに育てる** 子どもから高齢者までともに育み学び合うまち

一人ひとりの個性が尊重され思いやりのあるまちづくり

妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり

生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるまちづくり

令和5年度からの第2次橋本市長期総合計画（後期基本計画）では、近年の社会情勢や本市の人口動向を踏まえ、長期総合計画の基本構想において掲げた将来の目標人口6万人の維持を達成することを目的として、重点プロジェクトを設定しました。

目標人口6万人の実現に向けた重点プロジェクト

まち全体で
子どもを育む

合計特殊出生率を改善するとともに、ファミリー層の転入促進を通じて出産を希望する人口を増やし、**出生数の改善を図る**ことで、人口の減少速度を緩やかにし、目標人口の達成を目指すものとします。

育

まちの魅力を
みがき伝える

ファミリー層からの橋本市に対する評価は、特に子育て支援において高くなっています。**ファミリー層のさらなる促進を図る**ことで、人口の減少速度を緩やかにし、目標人口の達成を目指すものとします。

魅

住み続けられる
まちをつくる

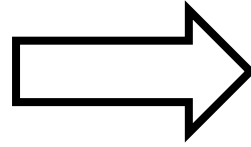
進学や就職を機とした市外転出は避けられないと予想されますが、市内の住みやすさ、働きやすさの向上を図り、**市外に流出する人口の減少速度を緩やかにする**ことで、目標人口の達成を目指すものとします。

住

令和6年度当初予算の主な事業（重点事業分）

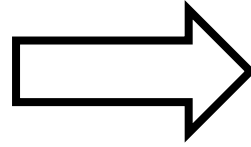
以下については、令和6年度当初予算における主な事業について、長期総合計画に掲げる重点事業との関連を示した。また、新規事業及び見直し・改編事業についても明記した。

「まち全体で子どもを育む」



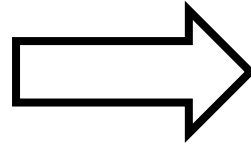
育

「まちの魅力をみがき伝える」



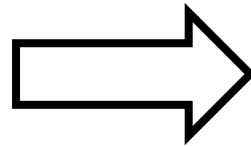
魅

「住み続けられるまちをつくる」



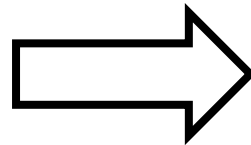
住

「新規事業」



新

「見直し・改編事業」



改

予算額： 2億4,000万円

財源内訳 (円)

繰入金 4,000万	諸収入 (売上) ,2億
---------------	--------------

繰入金は産業振興基金繰入金

市内での経済循環を促進するため、デジタル地域通貨 Hashi-Mo (ハシモ) を20%のプレミアム率を付加したうえで発行するための予算を計上しています。

橋本市版SDGS



予算額： 9,000万円

財源内訳 (円)

国県支出金,1,376万

繰入金, 7,624万

繰入金は産業振興基金繰入金

橋本ふるさと便指定事業者が生産・販売する農産物や加工品を購入した消費者の皆さんが、橋本市内・市外のご家族やご友人に農産物等を発送する際の送料を橋本市が補助する予算を計上しています。(令和6年度より1農家あたりの上限を設定します。)

橋本市版SDGS



予算額： 2,267万5千円

財源内訳 (円)

国県支出金, 1,133万7千

基金繰入金, 1,133万8千

インターネットサイトを利用した農産物等の新たな販路の確立とリピーター獲得により、農家の継続的な収入に繋げるため、インターネット販売サイトの利用手数料などを補助するための予算を計上しています。

橋本市版SDGS



←
イ
メ
ー
ジ

予算額： 2,706万5千円

財源内訳 (円)

一般財源, 306万7千

国県支出金,
1,193万3千

基金繰入金,
1,471万5千

ファミリー層など、本市への転入を促進し、人口の減少速度を緩やかにするため、移住希望者が移住の決定等に必要経費を市が支援するための各種補助制度を国や県の補助金を活用し予算化しています。

【新規】 お試し滞在支援事業補助金 22万5千円 など

橋本市版SDGS



←
イ
メ
ー
ジ

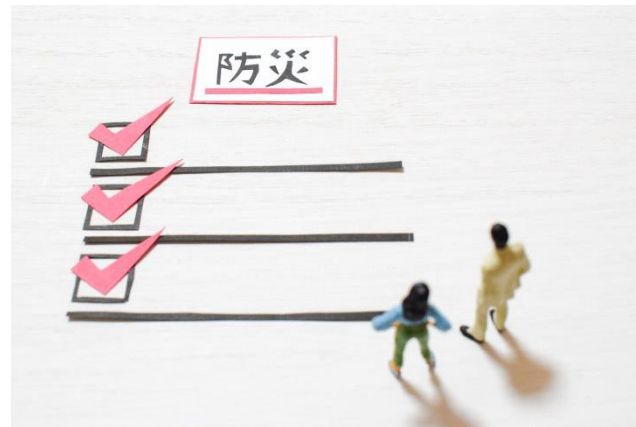
予算額： 1,377万8千円

財源内訳 (円)

一般財源 1,377万8千

令和6年度及び7年度の2か年で、中央構造線断層帯による地震被害想定の見直しを行うとともに、本市地域防災計画及び業務継続計画の改訂に加え、災害時の本市受援計画の策定を行うための予算を計上しています。

橋本市版SDGS



予算額： 1,147万9千円

財源内訳 (円)

国県支出金573万9千

一般財源, 574万

ひきこもり者及びその家族に対し、相談、居場所づくり、研修会参加などの支援を橋本市、九度山町、高野町の1市2町で事業実施するための予算を計上しています。

橋本市版SDGS



予算額： 2億2,700万円

財源内訳 (円)

国県支出金 4,000万	地方債 9,090万	一般財源9,610万
-----------------	------------	------------

道路施設等長寿命化事業として道路等の効率的かつ効果的な予防修繕工事や、軽微な損傷箇所の緊急・応急的な修繕を行うことで安全性の確保及び施設の長寿命化を図るための予算を計上しています。

橋本市版SDGS



← イメージ

予算額： 9,237万8千円

財源内訳 (円)

一般財源 7万8千

地方債9,230万

橋本北消防署に自家用給油所（ガソリン：6,000ℓ、軽油：6,000ℓ）を設置するなど、地震発災時に72時間の業務継続のために必要な整備を行う。

橋本市版SDGS



← 北消防署

予算額： 1,143万1千円

財源内訳 (円)

一般財源, 1,143万1千

市内の経済循環の向上と施策の推進や市民協働を推進するため、デジタル地域通貨（Hashi-Mo）を活用し、プレミアム付商品券事業、ボランティアや講座・教室への参加ポイント付与など、地域通貨を運用するための経費を予算計上しています。

橋本市版SDGS



生涯にわたる生きがいと心の豊かさを高めるまちづくり
／妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり

予算額： 155万円

財源内訳 (円)

繰入金, 155万

繰入金はふるさと橋本応援基金繰入金

新生児の聴覚障がいを早期に発見することで、その後の音声言語発達等への影響が最小限に抑えられるため、分娩施設などで実施している聴覚検査の費用を一部負担するための経費を予算計上しています。

橋本市版SDGS



▲イメージ画像

ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学びあうまちづくり

予算額： 5,271万1千円

財源内訳 (円)

一般財源, 1万1千

地方債, 5,270万

市立小中学校1校あたり2基のアクセスポイントを設置して既設無線ネットワークを体育館まで拡充し、児童生徒用1人1台端末を利用した授業等を実施するとともに、災害時には避難者向けに無線ネットワーク利用を開放し、災害等の情報収集や安否確認を支援するための予算を計上しています。

予算額： 4,626万8千円

財源内訳 (円)

国県支出金, 2,119万6千

一般財源, 2,507万2千

デジタル教科書は、動画や音声などの機能や本文・図の拡大、文字や背景色の変更などの機能を使うことでより分かりやすい授業を行う手段となることから、令和6年度に小学校で新教科書を使用開始するのに合わせて指導者用デジタル教科書を導入するための予算を計上しています。

橋本市版SDGS



← イメージ

橋本市版SDGS



← 授業の様子

予算額： 2億2,312万6千円

財源内訳 (円)

一般財源, 3,612万6千

地方債, 1億8,700万

老朽化した紀見地区公民館、郷土資料館及びあさもよし歴史館を移転統合し、旧紀見小学校跡地に新築整備することで、地域の公民館活動をより充実させるとともに、文化財及び歴史資料を一体的に保存管理・活用します。

令和6年度は郷土資料館部分の建築工事に加え、体験学習室の備品購入などを行うための予算を計上しています。

橋本市版SDGS



▲完成イメージ

生涯にわたる生きがいがづくりと心の豊かさを高めるまちづくり

予算額： 458万8千円

財源内訳 (円)

一般財源, 458万8千

子どもたちがイベント企画時から事業に参画することで、社会性の醸成や達成感の獲得など様々な経験ができる場を提供するとともに、世代間の関わりにより将来のコミュニティの形成を見据えた持続可能なまちづくりを実践するため、「(仮称) はしもとこどもまつり」を実施するための予算を計上しています。

橋本市版SDGS



←イメージ

ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学びあうまちづくり